中期	小５ ２学期	じょうずにたずねよう	※学級活動など

１　目　標

○　不明な点について質問することの重要性に気付くとともに、「質問のポイント」を知り、不明な点があるときに「質問ポイント」を適切に使って質問することができるようにする。

２　指導のポイント

○　わからないことや相手の気持ちを適切に聞き出す方法を身に付けることができるようにするために、上手なたずね方について考え、ロールプレイを取り入れて学習を行うようにする。

３　準備するもの

・「じょうずにたずねよう」プリント①、②－１、②－２　・台本①～③　・質問のポイント

４　事前・事後の活動計画

事　前	本　時	事　後
学級の実態に応じた「話し方・聞き方」の指導を継続して行う。	「じょうずにたずねよう」	「質問のポイント」を押さえて、上手なたずね方ができるように、日常生活で振り返らせるようにする。

５　本時の展開

	学　習　活　動	指 導 上 の 留 意 点
導入（つかむ）	１　「しっかり聞こう」で学習したことを想起させる。 ２　めあての確認をする。 **「じょうずなたずねかた」を考えよう。**	○　人の話を聞くときは、うなずく、目を見る、体を向ける、最後まで聞くことが大切であることを思い出させる。
展開（さぐる・見つける）	３　簡単な劇を通して、質問することの重要性について考える。 台本① 聞き返す場面がない。 台本② 児童が聞き返す場面がある。 （問い返すところを強調するとよい。） ４　「質問のポイント」をまとめる。 **＊質問のポイント「質問の“まきしお”」** **①質問の内容をまとめる、②質問の許可（きょか）を得る、③質問（しつもん）する、④お礼を言う** ５　ロールプレイを行い、ポイントを使った上手なたずね方を身に付ける。	○　簡単な劇を行い、分からないところを問い返す場面を強調することで、聞き流すのではなく、きちんと尋ねることが大切であることに気付かせるようにする。 ○　台本③を読みながら、練習する時間を設定する。 ○　「質問のポイント」を理解し、実際に使えるようにさせる。 ○　わからないことがあるときに質問できるようにさせる。
まとめ（決める）	６　学習の振り返りをする。 ・　「じょうずにたずねよう」プリントに授業の感想を書き、今後のたずね方について自己決定する。	○　上手なたずね方ができるようになるために、学校の中や家庭でも日頃から取り組んでいくように意識付けする。

参考文献　社会性と情動の学習（ＳＥＬ－８Ｓ）の進め方　小学校編　小泉令三／山田洋平（ミネルヴァ書房）（ユニットＢ５）

中期	小５ ２学期	それはしない！	※学級活動など

１　目　標

○　万引きの実態と被害の大きさを知るとともに、万引きに誘われても絶対にしないと断る決意をし、断るスキルを身に付け、万引きを止めさせる努力への意欲を高めることができるようにする。

２　指導のポイント

○　万引きは犯罪であることを正しく理解し、誘われても絶対にしないと決意を高めるように、ゲストティーチャーを招いたり、統計資料を活用したりする。

○　「換金目的」「ゲーム感覚」「理由なし」など万引きを軽い気持ちで行っていることに気付かせ、罪の意識が低くなっていることを理解できるようにする。

３　準備するもの

・「それはしない！」プリント　・図①、②　・断り方のポイント　・ゲストティーチャー

４　事前・事後の活動計画

事　前	本　時	事　後
日頃の指導の中から「是は是、非は非」という指導を継続して行う。	「それはしない！」	日常生活の中でも、学習したことを定期的に振り返っていく。

５　本時の展開

	学　習　活　動	指 導 上 の 留 意 点
導入	１　万引きについてのイメージを確認し、被害を受けているお店の状況について知る。 ２　めあての確認をする。 **万引きについて考えよう。**	○　万引きは被害を受けているお店にとっても深刻な問題であることを理解させる。
展開	３　万引きの実態やその被害の大きさを知る。 警視庁生活安全総務課ＨＰ 万引きに関する調査研究報告書 ～小学生の万引きに着目した意識調査 及び万引き被疑者等に関する実態調査～等を参考	○　万引きについてのグラフを提示したり、店舗経験者の話を聞いたりして、被害の状況等を理解させる。 ○　中学生より小学生の万引きが増えていることに着目し、理由を考える場を設定する。
	４　万引きをしない決意をする。	○　プリントに万引きをしない決意を書き、発表させる中で、店舗経験者からの感想を聞かせる場を設定する。
	５　万引きに誘われる場合があることを知り、「危険な状況での断り方のポイント」を考える。また、万引きを止めさせる意欲を高める。	○　「危険な状況での断り方のポイント」をまとめさせ、万引きをしない方法を理解させる。また、自分の身に危険が及んだ場合を考えさせる。
	＊危険な状況での断り方のポイント「“ハリ”の”ワニ“」 **①はっきり断る、②理由（りゆう）を伝える、③話題（わだい）を変える、** **④最後は逃（に）げる**	
	６　ロールプレイを行い、「危険な状況での断り方のポイント」を身に付ける。	○　断り方の練習をさせ、自分の言葉で断ることができるようにする。
まとめ	７　学習の振り返りをする。 ・　「それはしない」プリントに授業の感想を書き、今後の決意について振り返る。。	○　日常生活において、悪い誘いを断ることができるように日頃から取り組んでいくことを意識させる。

参考文献　社会性と情動の学習（ＳＥＬ－８Ｓ）の進め方　小学校編　小泉令三／山田洋平（ミネルヴァ書房）（ユニットＦ６）

中期	小５ ３学期	最高学年になって	※学級活動など

１　目　標

○　上級生としての学校内での役割を確認し、その役割を果たすために必要なスキルや能力を説明できるとともに、自分の目標を定めた上で、自分の役割を果たそうとする意欲を高めることができるようにする。

２　指導のポイント

○　上級生の役割を考えることができるように、学校での学年を超えたつながりのある活動（縦割り活動、委員会活動など）の活動を取り上げ、紹介する場を設定する。

○　達成状況を児童にフィードバックできるように、児童が定めた目標については、担任教師が把握できない場面が設定されることが予測されるため、他の教師との連携を図るようにする。

３　準備するもの

・「最高学年になって」プリント

４　事前・事後の活動計画

事　前	本　時	事　後
上級生のよい姿を見せることで、上級生へのあこがれや希望をもたせる。	「最高学年になって」	上級生としての役割と必要なスキルを生かすことができるように、日常生活で振り返っていく。

５　本時の展開

	学　習　活　動	指 導 上 の 留 意 点
導入（つかむ）	１　上級生について考える。 ２　めあての確認をする。 **上級生としての役割について考えよう。**	○　委員会活動や６年生を送る回答を振り返り、上級生としての在り方を考え、本時の目当ての方向性をつかむ。
展開（さぐる・見つける）	３　学校内での活動から上級生の役割を確認し、上級生としての必要なスキルを考える。 ４　いくつかの場面に関する上級生としての対応についてグループで話し合う。また、上級生の役割を果たすために必要な「頼み方のポイント」と「ほめ方のポイント」を知る。 **＊頼み方のポイント「“ハリを（お）”頼む」** **①内容をはっきり伝える、②理由（りゆう）を伝える、③お礼を言う** 発問例 どんなふうに頼まれるとうれしいかな。 **＊ほめ方のポイント** **「ほめる人の名前　＋　ほめる理由　＋　ほめ言葉」** 発問例 どんなふうにほめられるとうれしいかな。 ５　自分の役割を振り返り、自分の果たしたい役割についての目標を立てる。	○　いろいろな活動の中で上級生としてすることや上級生として必要な力はどんなことかを考えさせる。 ○　上級生として活動する中で、困ったことへの対応方法を考えさせる。 ○　ほめる役とほめられる役をつくり、ロールプレイをグループで行い、役割を交代して繰り返させる。 ○　１人ずつ上級生として下級生に指示を出すロールプレイをグループで行い、役割を交代して繰り返させる。 ○　学習したことを参考に上級生としてできる目標を立てさせる。
まとめ（決める）	６　学習の振り返りをする。 ・　「最高学年になって」プリントに授業の感想を書き、今後の目標を記入する。	○　日常生活において、上級生としての役割と必要なスキルを生かすことができるように日頃から取り組んでいくことを意識させる。

参考文献　社会性と情動の学習（ＳＥＬ－８Ｓ）の進め方　小学校編　小泉令三／山田洋平（ミネルヴァ書房）（ユニットＡ１）